

特許出願中



ウレツ コート

繰返し使用可能!! 1液反応硬化型 アクリルポリウレタンスプレー

高耐久性

高耐候性

高密着性

汚れにくい

防水・防油性

高光沢

自動車・オートバイなどの塗装

電子回路基板の防錆処理

木工用

ホビー用

ルアーなどのトップコート

PVCフローアコーティング

各種金属コーティング

コンクリート・スレート塗装

特 徴

- 耐久性・耐候性・密着性に優れた強靱な塗膜を形成します。**
ウレタン塗料は、化学反応して強靱なウレタン結合を持った塗膜を形成するので、ラッカー塗料と比べて硬度/耐溶剤性/密着性/耐候性に優れています。そのため、屋外でも美しさを保つための塗装として多く使用されています。
※一度硬化すると、溶剤に侵されることはありません。
※弊社がお勧めする無黄変タイプのウレタンです。
※完全硬化後は、パフ掛けすることも可能です。
- 作業が楽な一液型エアゾール式**
2液型のような計量配合が不要で、しかも一度の使い切りではなく繰返し使用できます。また、スプレーガンの洗浄などの手間から解放されます。

使用方法

塗布面の汚れ、水分、油分、ホコリをウェス等で拭き取り、乾燥していることを確認した後、容器を攪拌球の音が出るようにして20~30秒よく振って下さい。

塗る面と噴出口との距離は15~25cmくらい離してください。近すぎるとタレや泡吹きの原因となり、離しすぎると肌がザラついたり十分な膜厚が付きません。

目立たない部分などで必ず試し塗りを行って、塗装状態、下地への影響、乾燥性、付着性などをあらかじめ確認してください。

周囲の環境が高温多湿の場合、塗布後に白化現象を起こす事があります。その場合は湿度の少ない環境で塗布を行って下さい。

一度に厚塗りしないで、左右または上下に塗る面と平行に移動しながらムラのないように塗ります。厚塗りする場合は、10~20分の間隔をあけて3~4回に分けて塗り重ねるとより美しく仕上がります。厚塗りした場合は、塗布後コンパウンド(パフ掛け)をかけるときれいに仕上がります。

注 意

容器を逆さにした状態では吹きつけできません。また、残りが少なくなると斜めにした状態で出にくくなる場合がありますので、その際はボタンの向きを調節してください。

冬季低温時(5℃以下)では反応・硬化が極端に遅くなります。10℃以下では必ず強制乾燥を行ってください。(例:50℃、24時間)

他のエアゾール塗料と組み合わせて使用する際は事前によくご確認ください。

取り扱い上の注意および安全衛生については、容器に記載の注意事項やMSDSをよく読んだ上で厳守してください。



タイプ	クリアー	
成分	湿気硬化型1液ウレタン塗料、DME	
主な法規	高圧ガス保安法	可燃性ガス 高圧ガス
	消防法	危険等級Ⅱ 第4類 第2石油類 155ml
	有機溶剤 中毒予防規制	第2種有機溶剤
	PRTR法	トルエン、キシレン
容器・荷姿	420mlエアゾール/梱包 12本入り	

技術データ

【塗膜の基本物性】

項目	成績	備考 (試験方法)
指触乾燥	10分 (25℃)	コンパウンド可能時間：約24時間後
完全硬化時間	約150時間 (25℃)	強制加熱硬化時間は50℃、24時間以上を推奨
標準塗り面積	約2.4~3.2㎡	一回塗装当たり：膜厚10μm
鉛筆硬度	F~2H	7日後の塗膜の硬さ
屈曲性	合格	エリクセン試験、2mmφ/180°折り曲げ
密着性	合格	2mm□、基盤目テスト (SUS304鏡面)
耐水性	異常なし	7日浸漬
耐アルカリ性	異常なし	10%NaOH溶液に7日浸漬
耐溶剤性	異常なし	キシレン酢ブチスポットテスト
耐汚染性	異常なし	口紅の拭き取り
耐候性	異常なし 稀に黄色	500時間サンシャインウェザオメーター 1200時間 " (10年以上OK!)
耐摩耗性	86mg	CS-10/1kg/1000RPM (テーバー摩耗試験)

【各種基材との相性評価】

基材	ウレッコート		基材	ウレッコート	
	外観	密着性		外観	密着性
ABS	○	○	PET	○	○
PMMA	○	○	PPS	○	△
AS	○	○	軟質PVC	○	○
PC	○	○	Phenol	○	○
硬質PVC	○	○	Epoxy	○	○
PS	○	○	SUS304	○	○
PP	○	×	SPCC	○	○
PE	○	×	A1050P	○	○
PA66	○	△	SPTe	○	○
PPO	○	○	SGCC	○	○
PBT	○	○	ラワン単板	○	○
POM	○	×	モルタル	○	○

【防錆効果の確認：鉄板 (SS400：ヘアライン) に対する湿潤試験】 (条件：49℃・95%RH・2ヵ月)

未処理	ウレッコート	市販ウレタンスプレー
		

Horita Trading Company

KSK 広陽商工株式会社

〒486-0955 愛知県春日井市二子町 2-1-7

TEL:0568-33-3861(代)

FAX:0568-33-2548

E-mail:info@koyoshoko.co.jp

http://www.koyoshoko.co.jp/